



南雲和夫

# 逆境の中にこそ 信頼関係が

地震、豪雪、少雪と3年続きの天災により、町経済をはじめ住民生活は大きな打撃を受けている。試練の幕開けとなることが予想されますが、この逆境をはねのけ、真に自立すべく姿勢とその取り組みについて伺います。

**質問**

一流の田舎町づくりについての取り組みと、そこに至った背景、またそれを通して町経済の活路をどのようにして導き出していくのか。

**町長答弁**

従来の町総合計画を補完するものではあるが、バブル崩壊後の現在の湯沢町と今後の湯沢町を語るとき、アーバンリゾートで良いのか考えを馳せていた。そして町民憲章である「わたしたちの願い」原点にゆきつた。都会にあるような箱物をいくつか作ってもつり合いがとれない。人と人との豊かなつながりや、歴史や文化を大切に、心ひかれる自

一般質問

分達にとつてもより良い町づくりを、地味であるがコツコツと積み上げていきたい。そして豊かな自然の保全やふれられる感動を与えられるような施策や町のもっている潜在的資源を掘り起こし、価値を高めていくよう取り組んでいきたい。

**質問**

湯沢町自立プランが作成されたが、住民とどうコンセンサスをとる、どのような展開を図っていくのか。

**町長答弁**

実施時期や財源の具体的表現はしてありませんので、町民からの意見を集約し、整理した上で執行に移していきたい。

地方分権社会は、行政運営の透明性や説明責任、住民の判断による行政運営サービスの選択によって、住民主導の個性的なシステムが求められている。

従って住民との接触に努力しコンセンサスを得ながら、効率的な町政運営を目指していきたい。

**質問**

今後の町づくりの基本となることから職員の内担当制度をつくる考えはなにか。

**町長答弁**

住民自治を目指す上で、行政と住民の信頼関係の構築が基本となります。現在、意識改革の一つとしてこの町民満足を目指すプロジェクトに職員が懸命に取り組



一流の田舎町のランドデザインは何か

んでいます。住民より職員に対し、励ましのことばもいただき感謝しておりますが、町民より好評価をいただくまでこのプロジェクトを続ける所存です。町内担当制度は必要と思っておりますが、単に地域と役場の情報伝達に終わってしまうことで、せっかくの制度が形骸化するようでは困ります。職員の行動を見守り、皆様からも状況を見守っていただきたい。